



平成28年11月29日

公立学校施設における木材利用状況に関する調査結果について

文部科学省では、公立学校施設における木材の利用状況について調査を実施しています。このたび、平成27年度における調査結果を取りまとめましたので公表します。

1. 調査内容

- 調査対象：全国の公立学校施設（幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校）
- 調査項目：（１）木造施設の整備状況及び非木造施設における内装木質化の状況
（２）木の学校の木材使用量

2. 調査結果の概要

- 平成27年度に新しく建築された学校施設のうち70.6%が木材を使用。
うち、木造施設は17.3%。
- 小・中学校については、74.7%で木材を使用、うち木造施設は16.2%。
- 平成27年度に整備された木造施設では、使用された木材のうち83.3%が国産材。

3. ホームページへの掲載について

調査結果については、文部科学省のホームページ「学校施設における木材利用」に掲載しています。

(URL：http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/mokuzai/1379542.htm)

<担当>

大臣官房文教施設企画部施設助成課 益居、渡邊
電話：03-5253-4111（代表）（内線2463）
03-6734-2463（直通）

公立学校施設における木材利用状況に関する調査結果（概要）

I 平成27年度に新しく建築された学校の状況 （木造施設の整備状況及び非木造施設における内装木質化の状況）

結果のポイント

○平成27年度に新しく建築された学校施設のうち、70.6%が木材を使用。
うち、木造施設は17.3%、内装木質化した非木造施設^{※1}は53.3%。

○小・中学校については、74.7%で木材を使用しており、うち木造施設は16.2%、内装木質化した非木造施設は58.5%であった。

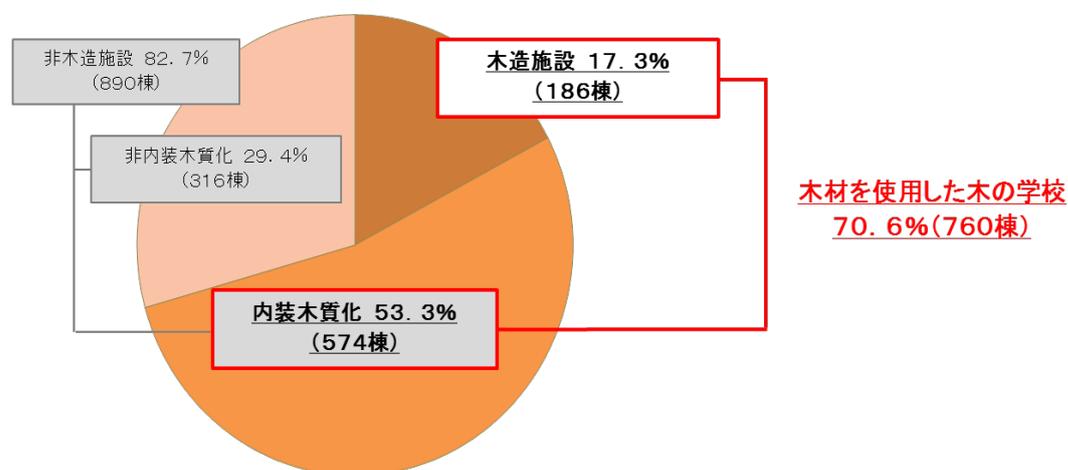
※1 内装木質化した非木造施設：①木造施設以外で、②床が木質化されており、③壁または天井が木質化されている施設

（1）木造施設の整備状況及び非木造施設における内装木質化の状況

○平成27年度に新しく建築された学校施設1,076棟のうち、760棟（70.6%）の建物で木材を使用していた。

● 木造施設 186棟（17.3%）

● 非木造施設のうち内装木質化を実施した施設 574棟（53.3%）





木造施設の例 広島県安芸太田町立加計小学校



内装木質化の例 茨城県大洗町立南小学校

(2) 学校種別の状況

- 小・中学校については、平成27年度に新しく建築された学校施設772棟のうち、577棟（74.7%）の建物で木材を使用していた。
 - 木造施設 125棟（16.2%）
 - 非木造施設のうち内装木質化を実施した施設 452棟（58.5%）

平成27年度に新しく建築された学校の木造化・内装木質化の状況（学校種別）

（単位：棟）

	幼稚園	小学校	中学校	小・中学校	中等教育学校	高等学校	特別支援学校
全施設数	57	501	271	772	4	196	47
うち木造施設数	16 (28.1%)	83 (16.6%)	42 (15.5%)	125 (16.2%)	1 (25.0%)	31 (15.8%)	13 (27.7%)
うち非木造施設数	41	418	229	647	3	165	34
うち 内装木質化数	31 (54.4%)	295 (58.9%)	157 (57.9%)	452 (58.5%)	1 (25.0%)	68 (34.7%)	22 (46.8%)

【参考1】過去3年間の推移

木造施設の整備状況及び非木造施設の内装木質化の状況（新しく建築された学校）
（単位：棟）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
全施設数	1,242	1,016	1,076
うち木造施設数	254 (20.5%)	214 (21.1%)	186 (17.3%)
うち非木造施設数	988	802	890
うち内装木質化数	682 (54.9%)	507 (49.9%)	574 (53.3%)

【参考2】全木造施設数（平成27年5月1日時点）

- ・全学校施設数： 379,275棟
- ・うち木造施設数： 36,606棟（9.7%）

【参考3】木材を使用した建物の主な用途

平成27年度に新しく建築された学校施設の主な用途

（単位：棟）

	全施設	木造施設	非木造施設	
			内装木質化あり	内装木質化なし
教室、遊戯室等※1	606	56	383	167
屋内運動場	181	11	150	20
武道場	35	8	20	7
寄宿舎	12	6	6	0
その他※2	242	105	15	122
計	1,076	186	574	316

※1 教室、遊戯室等：普通教室、特別教室、図書室、多目的教室、職員室、幼稚園の遊戯室や保育室等

※2 その他：倉庫、器具室、部室、屋外便所等

II 平成27年度に整備された木の学校の木材使用量

結果のポイント

○平成27年度に整備*された木造施設では、使用された木材の83.3%が国産材。

※ 整備：新しく建築する場合及び木材を使用して改修を行う場合

- 全施設 72,095 m³
うち国産材の量 48,729 m³ (67.6%)
- 木造施設 23,608 m³
うち国産材の量 19,657 m³ (83.3%)
- 非木造施設（内装等に木材を使用） 48,486 m³
うち国産材の量 29,072 m³ (60.0%)

【参考】過去3年間の推移

木材使用量（新しく建築された学校と木材を使用して改修された学校によるもの）

（単位：m³）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
全施設木材使用量	85,959	82,090	72,095
うち国産材 (国産材率)	55,378 (64.4%)	51,440 (62.7%)	48,729 (67.6%)
うち木造施設	27,583	30,316	23,608
うち国産材 (国産材率)	23,091 (83.7%)	26,890 (88.7%)	19,657 (83.3%)
うち非木造施設 (内装等に木材を使用)	58,376	51,773	48,486
うち国産材 (国産材率)	32,286 (55.3%)	24,550 (47.4%)	29,072 (60.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。